

わらべ、アトリエ、京っこ3月宿泊活動

～「楽しい！」はつくれる！～

2017年3月11日(土) ～ 3月12日(日)

IN 花背山の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	雪遊び	キャンドルファイア
2日目	野外炊飯、集団遊び	施設を出発・解散	

一日目： おはようございます！昨年に引き続き、『わらべの「わ』、『山のこどもアトリエ』、『京っこクラブ』が一緒になり、花背山の家へ向かいました。しかし、昨年度と大きく違う点は“雪が残っている”ということでした。予想を超え、施設に到着すると雪がふっていました。大喜びの皆は昼食を終え、早速ウェアで雪遊びへ出発しました。このキャンプは毎年恒例のくじ引きでグループを決めます。今回も祈りながらくじをひき、一喜一憂する姿が微笑ましかったです。雪遊びはスピードが速いソリが一番人気で、風を切って滑るという表現がぴったりでした。坂の途中で転けても笑顔が溢れ、とても楽しそうでした。飽きる事なく遊び続けていたので着替え後は、ホールで本を読んだり、ごろごろしたり、各々でのんびり過ごしました。この日の夕食は食堂で食べました。ここで途中参加のメンバーも合流し、皆でキャンドルファイアをしました。ゲームやダンスを楽しみ、大盛り上がりでした。最後はロウソクを一人ずつ持ち、分火をしました。自分のロウソクの火を見つめながら一日を振り返り、一斉に灯りを消して一日目のプログラムを終えました。



二日目： 花背の朝はまだまだ寒く、寒さで目が覚めました。起きてから朝食までに身支度を整え、シーツや布団を畳み、ロッジ内の清掃を終える事が目標でした。流れを把握しているメンバーが声を掛け、次から次へと進めておられました。予定どおりに皆が揃い、朝食作りが始まりました。こちらで調理や火の扱いなど慣れた手つきで完成させていました。午前中は体育館で集団遊びに挑戦しました。一日目に皆から募集した遊びの中から線鬼ごっことドッチボールを楽しみました。ドッチボールはボールを増やしたり、王様を決めたりと、変化するルールにも対応し、熱中しておられました。昼食後は、振り返りも兼ねて友達に手紙を書きました。何枚も紙をとり黙々と書く姿は、どのプログラムよりも真剣でした。卒業や皆勤メンバーの表彰式でも自然と拍手が起こり、活動を越えた繋がりを感じました。



<キャンプ総括>

このキャンプでは毎年恒例となったくじ引きでのグループ分けは、今回も大盛り上がりでした。くじ引きの結果に一喜一憂する姿は、見ていて微笑ましいと同時に、色々な想いがあるからこそ生まれる表情だとも感じました。普段の活動のようにメンバーが固定のグループにも良さが沢山ありますが、より多くのメンバーと関わり、それぞれのグループで違った役割を担える事は非常に意味があると思います。また、普段は決めない班長もくじ引きで決めます。ですので、普段は自由に動き回るメンバーが急に皆に声を掛けたり、班長をサポートするメンバーが現れたり楽しみながら皆でグループをつくる事ができていました。これからも皆でつくる活動を目指していきます。一年間ありがとうございました。(生本ひろみ)